

祝 軽米町町村合併 70周年記念式典

Karumai!

広報
かるまい

町の魅力と町民の輝く姿を届ける情報誌

120

Dec. 2025
vol. 801

70th Anniversary

紡いできた歴史、未来へ――



【表紙】

70年の節目を祝う式典のオープニングでは、
軽米小学校マーチングバンドが演奏を披露し、
会場を温かく盛り上げました(関連2~5ダ)。



■歴代町議会議長

松浦 求 (蜂ヶ塚)

2期8年の永きにわたり町議会議長の要職に在職され、地方自治の進展と町勢の発展に貢献された功績

■農業委員会委員

山田 一夫 (仲軽米), 寺澤 正幸 (向高家),
下谷地 敦雄 (下谷地渡), 福田 光雄 (上野場)

多年にわたり農業委員会委員として農業振興と町勢の発展に尽力された功績

■選挙管理委員会委員

平内 和男 (上野場)

多年にわたり選挙管理委員会委員として地方自治の進展と町勢の発展に尽力された功績

■統計調査員

中道 ハルエ (緑ヶ丘), 山下 幸子 (向川原),
木村 隆 (大町), 横島 敏彦 (横枕),
江刺家 敦子 (上河南), 中里 多喜男 (大沢),
工藤 秀一 (岩崎), 若山 由紀夫 (向川原),
山下 勇 (竹谷袋), 荒川 定美 (長倉),
菅原 敏夫 (車門), 山下 克也 (仲町),
玉田 弘悦 (下河南), 大久保 広 (大久保)

多年にわたり統計調査員として地方自治の進展と町勢の発展に尽力された功績

■社会福祉委員

古館 喬郎 (横枕), 中里 多喜男 (大沢),
瀧澤 弘 (本町), 増尾 恵子 (大町),
菅原 いく子 (上館)

多年にわたり社会福祉委員、民生委員、児童委員として社会福祉の増進と町勢の発展に尽力された功績

■保健・福祉功労

佐藤 勝子 (本町)

多年にわたり保健推進員として公衆衛生活動と町勢の発展に尽力された功績

松田 昌子 (下河南)

多年にわたり食生活改善推進員として保健福祉の増進と町勢の発展に尽力された功績

木村 純子 (盛岡市)

多年にわたり幼児療育指導者として幼児教室の運営指導と町勢の発展に尽力された功績

■消防団員

高田 刚 (向川原), 橋澤 一相 (上増子内),
大内藏 豊 (観音林北), 赤羽 進 (観音林東),
野中 刚 (下円子上組), 福田 喜代志 (上野場),
鶴飼 利幸 (鶴飼), 畠澤 徳行 (沢里),
小林 一幸 (大久保), 中野 弘 (百目金),
鶴飼 治彦 (鶴飼), 清水 隆治 (米田),
田中 政幸 (百目金), 増尾 富明 (下増子内),
井戸畠 昭博 (平), 紫葉 守 (下野場),
中村 保彦 (上河南), 山下 幸彦 (竹谷袋),
福田 隆 (上野場), 紫葉 高浩 (上晴山),
田端 守 (下晴山)

多年にわたり消防団員として町民の生命財産の保護と町勢の発展に尽力された功績

■スポーツ功労

内澤 明未 (東京女子体育大学2年)

2025女子U21バレー世界選手権大会において日本代表として活躍され銀メダル獲得に貢献した功績

中村 心美 (軽米中学校3年)

日本リトルシニア中学硬式野球第8回ガールズチャンピオンシップにおいて活躍され優勝の栄誉に輝いた功績

太田 清行 (沢里), 長興寺 一弘 (向川原)

軽米町野球協会会長として多年にわたり野球競技の大会企画や運営に努めるなどスポーツ振興に尽力された功績

内澤 多賀志 (仲町)

軽米町サッカー協会会長として多年にわたりサッカー競技の大会企画や運営に努めるなどスポーツ振興に尽力された功績

内澤 璃々 (盛岡誠桜高校3年), 菅原 悠奈 (同校1年)
第77回岩手県高等学校総合体育大会バレー競技において活躍され優勝に貢献した功績

中嶋 健心 (軽米高校2年)

第23回全国高等学校アームレスリング選手権大会ライトハンド70kg級において第3位に入賞した功績

軽米中学校女子バレー部

第72回岩手県中学校総合体育大会バレー競技において優勝の栄誉に輝いた功績

軽米ミニバスクラブウォーリアーズ

第12回小学生3×3バスケットボール選手権岩手県大会において優勝の栄誉に輝いた功績

■文化功労

古里 心結 (軽米中学校1年)

第70回青少年読書感想文全国コンクール小学校高学年の部において毎日新聞社賞を受賞した功績

70年の歴史を胸に

町村合併70周年記念式典



軽米町は、昭和30年の町村合併から70年の節目を迎え、11月21日に「軽米町町村合併70周年記念式典」を宇漢米館で開催しました。式典には、近隣市町村長、姉妹町の北海道音更町の小野信次町長、高瀬博文町議会議長はじめ、多くの来賓と町民が参列し、町の節目を祝いました。

山本賢一町長は、「幾多の困難を乗り越え、町民の皆さまの郷土を愛する情熱とひたむきな努力、そして関係機関のご支援により、本町は着実に発展してきました。これまで町勢のためにご尽力くださった先人の皆様へ深く敬意を表します。町の将来像である『一人一人の活力と思いやりが循環するまち』の創造に向けて、町民と手を取り合いながらまちづくりに取り組んでまいります」と述べ、未来に向けた決意を語りました。

町表彰では、58人、2団体に山本町長から賞状と記念品が贈られました。被表彰者とその功績は次のとおりです。（式典名簿順、敬称略）





第46回軽米町民文化祭 ～作品に込めた思い ひとつの会場に～

2日には大正琴クラブや軽
米童謡を歌う会など、団体が
出演する町郷土芸能・文化協
会発表会が行われ、美しい歌
声や華麗な演舞に190名の
観客から大きな拍手が送られ
ました。

「秋の盆栽展」には、緑樹会の皆さんのが丹精込めて育てた盆栽など62点が並び、訪れた人たちがじっくりと鑑賞していました。

展示部門では、文化協会所属団体の作品をはじめ、一般応募、児童・生徒による習字や絵画など、計784点の多彩な作品が展示されました。

11月一日には山ぼうしの会による「うかめ茶会」が開かれ、おいしいお茶で来場者を

第46回軽米町民文化祭の
「秋の盆栽展」が10月26日と
27日、展示部門が29日から11
月3日まで宇美米館で開催さ





かるまい冬灯り 2025 illumination

点灯日時

●通常（令和8年1月18日まで）

16:00～23:00

●クリスマス期間・年末年始

（12月24、25日、12月31日～1月3日）

16:00～6:00まで

かるまい冬灯りイルミネーション点灯式（かるまい冬灯り実行委員会主催）が11月23日に町防災センター前特設会場で開かれ、約300人が来場しました。今年は“10周年”的節目となり、新たな装飾が施され、冬の夜を華やかに彩りました。

開会行事では、同実行委員会の大崎幸男委員長が「今年のテーマは『光の広場』。サブテーマは『光を届けて10周年』です。約2カ月をかけてスタッフが心を込めて飾り付けました。光の中でのひとときを楽しんで、元気を充電していただきたい」とあいさつ。来場者が声をそろえてカウントダウンをすると、イルミネーションが一斉に灯り、会場は色鮮やかな光に包まれました。点灯後は、向川原地区女性部が手づくりした甘酒とせんべい汁のおふるまいで来場者をもてなし、温かな湯気が会場に広がりました。

イルミネーションの点灯期間は令和8年1月18日まで、時間は16時から23時まで。クリスマスなどのイベント時には延長点灯も予定されています。

また期間中は、町内のイルミネーション撮影して応募するフォトコンテストも開催中。軽米共通商品券などの賞品が当たります。10周年を迎えるますます魅力が増したかるまい冬灯り。ぜひ会場で、心温まる光の風景をお楽しみください。

フォトコンテスト
に応募しよう！



◆応募方法

- ①インスタグラムで軽米町観光協会のアカウントをフォロー
- ②募集期間内に防災センター内で写真を撮影
- ③「#かるまいルミ 2025」を付けて写真を投稿

◆賞品

- | |
|----------------------------------|
| グランプリ（1人）…軽米共通商品券3万円分 |
| 準グランプリ（1人）…軽米共通商品券2万円分 |
| 入選（3人）…軽米共通商品券3千円分 |
| いい作品で賞（若干名）…ポストカードセット |
| 神久保翔也
ふるさと大使賞（1人）…軽米町特産品詰め合わせ |

若者の声が 未来をつくる

町では、若者の意見を町施策に反映させる目的で「軽米町若者会議」を設置しています。令和7年度は、軽米町総合発展計画の後期基本計画（計画期間・令和8年～12年）の策定にあたり、4つのテーマについてワークショップ形式で開催しました。

若者会議で出された意見（一部）

- 住まい
 - ・移動販売の充実。
 - ・ショッピングモールや企業を誘致して、働くところを増やしてほしい。
 - ・空き家の活用をするべき。移住を考えた時に住宅の情報がない。
 - ・空気がきれいで自然が豊か。治安が良い。
 - ・米が手に入りやすい。
 - ・病院が遠く、小児科の病院が少ない。
- 子育て・教育
 - ・高校に違う科を増設してほしい。
 - ・他の市町村より補助が手厚い。（医療費〇・給食費〇等）
 - ・子供を遊ばせる場所が少ない。防災センターの横に公園ができたが狭い。
 - ・サッカーや野球、バレーなど習い事がたくさんある。
- 仕事
 - ・ハローワークで就職先を探しても求人が少ない。
 - ・二戸市や八戸市への通勤が便利。
 - ・農家が高齢化により減少してきているので、減らさないための施策が必要。
- 交流・にぎわい
 - ・道の駅ができるれば町内に来る人が増えると思う。
 - ・宇漢米館ができるイベント開催が多くなった。
 - ・せっかく軽米に観光客が来ているのでアプローチをもっとしたい。
 - ・町のゆるキャラが3体いるので、ふれあえる場やパネルがあれば良い。



若者ならではの視点が光ったグループ討議（第1回会議）

若者会議委員を募集しています



▲町HP

「若者会議」の委員を随時募集しています。皆さんの発想やアイデアを、これからのまちづくりに生かしてみませんか。

■応募資格

概ね18歳から45歳までの町民または町出身者で、まちづくりに意欲がある人

■委員任期

1回目（令和7年8月21日）の会議から2年間

■謝礼等

町の規定に基づき支給

■応募方法

①専用フォームからの応募

②専用の応募用紙を提出

役場政策推進課に用意しています。

さ“について、グループごとに意見を出し合いました。委員からは、「若者が地元で働き続けられる仕組みづくり」や「挑戦できる環境の整備」など、軽米の未来を前向きに捉えた意見が多数寄せられました。また、町のにぎわいや人のつながりを生み出すイベントのアイデアも出され、世代や立場を越えて語り合う場の重要性が共有されました。

若者会議は、概ね18歳から45歳までの町民や町出身者で構成され、今年度の第一回会議は8月21日に宇漢米館で開催されました。テーマは「住まい」と「子育て・教育」。委員5人と役場の若手職員17人が参加し、現状の課題や日頃感じている思いを付箋に書き出し、グループごとに意見を交わしました。

会議では、「若者が住み続けたくなる環境づくり」や「住まいの確保と選択肢の拡大」など、未来を見据えた意見が多く寄せられました。若い世代ならでは

第2回会議は「仕事」と「交流・にぎわい」を議論

第2回若者会議は10月16日に宇漢米館で開催されました。委員と若手職員が前回に続いて参加し、今回は「仕事」と「交流・にぎわい」をテーマに話し合いました。まず、町の産業構造や働く場の現状などを共有した後、若い世代を感じている「働きやすさ」「チャレンジしやす

若者会議は今後もテーマを変えてながら継続的に開催し、令和8年度以降のまちづくりに反映していく予定です。若者の視点から生まれたキーワードや提案は、町が目指すまちの姿を描くうえで貴重な指針となります。※寄せられた意見の一部は左欄で紹介しています。

第一回会議は「住まい」と「子育て・教育」を議論

の視点が集まり、特に子育て支援については、他市町村よりも手厚いなどの意見が出されました。

軽米中女子バレーボール部 岩手県中学校 新人大会初優勝

第55回岩手県中学校新人大会バレーボール競技が11月15日と16日に陸前高田市で行われ、軽米中学校女子バレーボール部が念願の初優勝を飾りました。

キャプテンの竹花杏さん（2年）は「優勝が決まった瞬間は本当に嬉しかったです。ローションやメンバーが変わる場面もありましたが、みんなで支え合い、対応力もついたと思います」と笑顔で話します。

「ミスした時は“次いこう”と声をかけ、雰囲気づくりを大切にしてきました。3月の県選手権大会では三冠を目指して頑張りたいです」と、これから意気込みも語ってくれました。

軽米ミニバスが2連覇！

第21回軽米町長杯ミニバスケットボール大会が11月3日に町民体育館で行われ、4チームが熱戦を繰り広げました。軽米チームは2試合とも圧勝し、見事2連覇を達成。キャプテンの兼田栄太くん（小軽米小6年）は「みんなで声を掛け合い、最後まで諦めずに戦えた。優勝できてうれしい」と笑顔で話しました。



2連覇達成の記念撮影



初戦の勢いそのままに頂点に立った軽中バレーボール部

大会結果

1回戦	軽米 2 - 0 BLAISE一関 (25-8, 25-6)
2回戦	軽米 2 - 0 釜石ヤングバレーボールクラブ (25-18, 25-15)
3回戦	軽米 2 - 0 DAISHIN ACADEMY (25-20, 28-26)
準決勝	軽米 2 - 0 江刺第一 (25-21, 25-13)
決 勝	軽米 2 - 0 厨川 (25-19, 25-19)

明堂さんが岩手県代表入り

明堂莉己さん（軽米中3年）がJOCジュニアオリンピックカップ第39回全国都道府県対抗中学バレーボール大会の岩手県代表に選ばされました。明堂さんは「初めて県選抜に選ばれ嬉しかった。全国でも粘り強いプレーで貢献したいです」と意気込みを語りました。同大会は12月25日から大阪府で開催されます。



岩手県代表に選ばれ、全国大会に挑む明堂さん

地域整備課から

円滑な道路除雪作業のために ご協力をお願いします

スムーズな道路除雪作業には、町民の皆さんのご理解とご協力が必要です。町民・除雪業者・行政がそれぞれの役割を分担し、ルールとマナーを守り効果的な除雪作業にご協力をお願いします。



①玄関先や車庫前などの 雪寄せにご協力を！

雪を道路の両側に振り分ける作業が基本となるため、作業後は玄関先や車庫の前等に雪が残ることがあります。大変ご苦労をおかけしますが各家庭で雪寄せのご協力をお願いします。

②路上駐車は絶対にやめましょう

路上駐車の車があると、除雪車が入れず除雪作業が後回しや中止になり他の人にも迷惑がかかってしまいます。円滑な除雪作業のため路上駐車は絶対にしないでください。



③道路に敷鉄板などの 障害物を置かないで！

雪に隠れた敷鉄板が作業の妨げになったり、工作物を破損する事故につながる恐れがあり、大変危険です。事故防止のため降雪前に路上の障害物は取り外しをお願いします。



④道路に宅地内の雪を出さないで！

わだちやでこぼこの発生、運転手がハンドルを取られるなど事故の原因になります。屋根からの落雪も通行の支障とならないよう処理をお願いします。

小型除雪機（2台）を貸し出します

小型の除雪機（ハンドガイド式）2台を町内会や行政区、ボランティア団体（個人は除く）などに貸し出しいたしますのでご活用ください。

なお、利用料は無料となります。燃料の補充は利用者のご負担となります。



・貸出期間 最長で1週間

・主な仕様 幅91cm、13馬力、処理能力83t/時



⑤作業中の除雪車には 近寄らないこと！

作業中の除雪車に近寄ることはとても危険です。作業に支障をきたすこともあるので絶対に近づかないでください。

⑥除雪を実施する路線の 優先順位にご理解を！

道路の重要度に応じて作業順位を決め実施していますのでご理解をお願いします。また、限られた機械と人員での作業のため、雪の量により完了するまで時間がかかる場合があります。

⑦深夜の除雪作業にご理解を！

除雪作業は、通勤・通学への影響が少なく効率的な夜間となることがあります。除雪車の騒音や振動でご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

※除雪車が通った後の道路は圧接アイスバーン状態となり滑りやすくなることがあります。冬用タイヤの装着、タイヤチェーン等の滑り止め対策をお願いします。

道路にはみ出している 樹木、竹等の剪定（伐採）

雪の重みで樹木の枝が垂れ下がり、通行や除雪作業の障害となる場合があります。事故防止のため、降雪が予想される前に樹木の剪定等のご協力をお願いします。

※除雪のお問い合わせは、各行政区長を通じて地域整備課までお願いします。

【問い合わせ】
地域整備課（☎46-4741）

10チームが熱戦! ビーチボール大会開催

かるまいスポーツフェスタ・ビーチボール大会が11月16日に町民体育館で行われ、10チーム・約60人が参加しました。参加者は中学生以上の方々をはじめ、軽米町にゆかりのある人や町を応援する人など多彩。2グループに分かれて熱戦が繰り広げられ、白熱したラリーに会場が沸きました。



白熱したラリー

防犯活動の功績をたたえ 泉山さんに防犯栄誉銀章

軽米町防犯隊副隊長の泉山優さん（下円子上組）への防犯栄誉銀章表彰状伝達式が10月30日に軽米町役場で行われました。公益財団法人全国防犯協会連合会が主催するもので、泉山さんは長年にわたり地域の防犯活動や安全啓発に尽力し、地域の安心・安全な環境づくりに大きく貢献した功績がたたえられました。



防犯栄誉銀章を手にする泉山さん（左）

真っ赤なりんごに笑顔 小軽米保育園のりんご狩り体験

小軽米保育園の園児15人が10月28日に畑澤りんご園（長倉）でりんご狩り体験をしました。食育の一環として行われ、今年で3回目。園児たちは真っ赤に実ったシナノスイートを収穫し、「大きい！」と笑顔を見せました。収穫後はシナノスイートやぐんま名月など6種類のりんごを試食し、秋の味覚を満喫しました。



実ったりんごを大事そうにもぎ取ります

地域への感謝を込めて ダスキンニ戸が町に寄付

有限会社ダスキンニ戸（小保内孝代表取締役）から軽米町へ、寄付金50万円とオーダーメイドマットの寄付が10月27日に軽米町役場で行われました。寄付は会社設立50周年の節目を記念したもの。小保内代表は「地域の皆さんへの感謝を形にできてうれしい。町の魅力発信に役立ててほしい」と話しました。



マットは宇漢米館で使用しています

フードとハンドメイド大集合 笑フェスvol.3開催

笑フェスが11月16日に宇漢米館で開催され、こだわりのフード13店舗と個性豊かなハンドメイド27店舗が集まりました。会場は多くの来場者でぎわい、ステージでは商工会青年部によるお菓子まきやダンスも披露。主催した近藤陽子さんは「田舎でもやりたいことはできる、そんな場にしたかった」と話しました。



個性あふれる手づくり作品がずらり

開かれた学校づくりへ 一斉学校公開を実施

町内小中学校の一斉学校公開が11月17日に行われました。地域とともにある学校づくりを進める取り組みとして、地域の皆さんを対象に実施。公開時間内は自由に授業や活動の様子を参観でき、多くの方が子供たちの学ぶ姿を見守りました。地域の方にも学校を知つてもらう貴重な機会となりました。



積極的に発言しようと挙手をする軽米中の生徒たち

再生エネルギーの理解を深める 町職員向け勉強会を開催

再生可能エネルギーに関する勉強会が、11月7日、軽米町役場で開かれました。講師は戸田建設株式会社の平岡光昭さんで、「私たちの暮らしと再生可能エネルギーの関わり」をテーマに講話。電気料金の仕組みや再生エネルギーの地産地消の可能性などを説明し、町職員が再生エネルギーの重要性や地域への活用を学ぶ機会となりました。



再生エネルギーについて約30人が熱心に聴き入りました

東北弁でほっこり 落語講演会を開催

町文化協会主催の落語講演会が11月23日に宇漢米館で開かれました。出演は、今野家ちょすなさん、今野家世はねさん、今野家もうせさんの3名。独自の味わい深い東北弁を生かした「東方落語」が披露され、豊かな表現に来場者は聴き入っていました。方言が持つ温かさと語りの技が光る講演となりました。



東北弁ならではのリズムで「噺」を繰り広げるもうせさん

軽高だより
リサーチ
地域探求「カルマイ Research」

「カルマイ Research」は本校の特色ある学びの一つです。今の軽米町が抱える課題、魅力に着目し、社会での課題解決を実践的・探究的な学びを生徒主体で進めています。軽米町の課題を知るために、「町の施政方針」をじっくり読み、課題・魅力を明確にとらえ今後の取り組みにつなげていきます。

現在1年生は、自分なりに「軽米町の課題、魅力」を考え、これから課題解決、魅力の啓発活動に向けて探究活動を進めていきます。



タブレットや資料を使った調べ学習



町の総合発展計画を読み解き理解を深めます



スクリーンを見つめ、地域の課題について学ぶ生徒たち



ホームページ

note

vimeo

葬儀・法要専門会館
セレモニーホール
玉泉院
TEL. 0120-494-109

葬儀・法要お気軽にご相談ください 館内見学、事前見積り相談承っております。

その人生に感謝を。

二戸玉泉院 TEL. 0195-29-1600
久慈玉泉院 TEL. 0194-53-0061
軽米玉泉院 TEL. 0195-46-4109
福岡玉泉院 TEL. 0195-23-4440
九戸玉泉院 TEL. 0195-43-3409



地域おこし協力隊通信

地域に根ざす果樹づくりと今後の取り組みについて

地域おこし協力隊隊員 堀田 翔平・礼佳

今年の4月から8月にかけて、ブルーベリーとサルナシの栽培に取り組みました。畑の整備や土づくりを行い、日々観察しながら手入れを続け、ブルーベリーは7月から8月にかけて多くの実を収穫できました。サルナシは途中で葉が病気になりましたが、手入れにより新たな葉が芽吹き、植物の強さを実感。現在は空き農地を活用した体験型農園づくりに向けて準備中です。いずれは収穫体験や料理教室を開催し、地域の方に親しまれる活動につなげたいと考えています。周囲の支えに感謝しつつ、今後も栽培や加工、販売の学びを続けていきます。



自分たちで育てたブルーベリー



草刈りをして畑を整備中！

今年度で姉妹締結から40周年



姉妹町だより

上下水道パネル展で水鉄砲づくりを体験

10月6日～11日、上下水道パネル展が道の駅おとふけで開かれました。上下水道についての理解促進とPRが目的で、ポスターや仕切り弁などの展示、マンホールカードの配布などを行いました。最終日の11日には、給排水設備に使用している塩ビ管を利用した水鉄砲作りも行われ、試射コーナーでは、子どもたちが自分で作った水鉄砲で楽しく遊んでおり、にぎわいを見せっていました。



狙いを定めて、水鉄砲発射！

北海道音更町

十勝平野のほぼ中央に位置し、人口約43,000人。自然豊かでじゃがいもや玉ねぎなどが特産。当町とは、1985年10月31日から姉妹提携し、小学生の宿泊研修やイベントなどで相互交流を行っている。応援大使は、同町出身で日本テレビアナウンサーの滝菜月さん。



プライフーズ株式会社 軽米工場
従業員募集

従業員・アルバイトを募集しています。まずは、お気軽にお電話ください。
軽米町大字上館第20地割1-2 ☎ 46-2421 FAX: 46-4274 (担当:林まで)

未来に、まっすぐ。食卓に、まっすぐ。
Prifoods.
プライフーズ

広告スペース

News from library

図書館だより

おすすめの本を紹介するコーナー

■関口 優里香 さんお気に入りの一冊

作/宮沢賢治
絵/たかしたかこ（偕成社）

国語で宮沢賢治さんについて学習したときに、ほのかの作品も読んでみたいと思いました。話の中に何度も出てくる「キックキックトントン」という表現や、キツネたちの歌の歌詞などが面白かったです。言葉のリズムがよくて、本当に歌っている場面が想像できました。また「銀の針のようなひげ」や「青白い雪の野原」など色を使った表現も面白いです。

寒い冬のお話ですが、読むと心が温かくなります。ぜひ読んでみてください。

児童書



のらねこノラ

作・絵/すげいすみ（ポプラ社）

ひなたぼっこをしていたノラの隣に、おばあちゃんが座りました。編み物をしながらおしゃべり。あれ、ノラの爪がセーターにひっかかっちゃった！

図書館ひろばのご案内

絵本の読み聞かせや紙芝居などをします！

日時：12月20日（土）10:00～

場所：宇漢米館2階 研修室2（和室）

対象：幼児、小学生

一般書

栄養も時短もおいしさも
一品で完結！炊き込みごはん

著/岩崎啓子（家の光協会）

牛肉としらたきのすき焼き風
炊き込みごはん、エビとアボカドのカレー炊き込みごはんなど、主菜も兼ねられるボリュームのあるレシピを紹介します。

12月のテーマ図書展

『クリスマス☆
クリスマス』

小さな子どもから大人まで、ワクワク待ち遠しいイベント、クリスマス。今月は、クリスマスを盛り上げる飾りつけや料理、クリスマスの楽しい絵本などを用意しました。クリスマス本は、年に一度のお披露目になりますので、ぜひこの機会にご利用ください！



Dreams come true

夢・希望・えんぴつ

子どもたちの夢を紹介して応援するコーナー

鶴飼 凌久 さん（軽米小学校5年）

ぼくの将来の夢

プロ野球選手になること。これが、ぼくの将来の夢です。ぼくは、軽米野球スポーツ少年団に入っています。今は、特に、足や腰を使ったバッティング練習や、バットで球を打つスピードを速くするための練習に励んでいます。ただ、ぼくはまだ速く走ることに自信がありません。だから、速く走ることができるよう、これからさらに練習をがんばりたいと思います。将来、大谷翔平選手や落合博満選手みたいにヒットやホームランをたくさん打つことができる選手になることが目標です。そのために、これからも少年団の仲間と一緒に、一生懸命練習に取り組みます。



Unique poems

町文化協会 北光吟社 10月例句会

君成田	大清水	薄紅の小さき花伏す秋海棠
丹	中野	夜の明けて着岸間近秋日和
高橋	下美恵子	今年米値段を先に見るくせが
川	とき子	秋日和近所集ひし旅絶景
長島	君成田	君成田
千葉	大清水	大清水
三上	中野	薄紅の小さき花伏す秋海棠
千葉	下美恵子	夜の明けて着岸間近秋日和
高橋	とき子	今年米値段を先に見るくせが
高橋	君成田	君成田
長島	大清水	大清水
千葉	中野	薄紅の小さき花伏す秋海棠
千葉	下美恵子	夜の明けて着岸間近秋日和
千葉	とき子	今年米値段を先に見るくせが
千葉	君成田	君成田
千葉	大清水	大清水
千葉	中野	薄紅の小さき花伏す秋海棠
千葉	下美恵子	夜の明けて着岸間近秋日和
千葉	とき子	今年米値段を先に見るくせが

宮沢歯科医院

健康は『健口』から

診療科目
一般歯科
口腔外科
※予約制・当日予約可
休診日 日曜・祝日 第1, 3土曜日

宮沢歯科医院 軽米町

検索

九戸郡軽米町軽米8-105
☎0195-46-2953

中小企業の繁栄と発展をサポートします

丸橋 弘

税理士事務所

税理士 丸橋 弘（東北税理士会所属）

相続税・贈与税・所得税・法人税・消費税

丸橋弘税理士事務所 検索 TEL:0178-32-0170

八戸市亮市一丁目12-5

日帰り白内障手術・小児眼科
医療法人仁久

白山台くに眼科

理事長 日本眼科学会認定専門医 演端 久仁子

診療時間 月 火 水 木 金 土

9:00~11:30 ● ● / 手術 予約のみ ●

14:00~16:30 ● ● / 注射 ● /

休診日:毎週水曜・第4土曜・日祝

TEL:0178-51-9251

八戸IC 白山台八戸
八戸ニュータウンショッピングセンター
八戸駅
八戸市ISUTAYA グランドサンピア八戸
いとう整形様2駐車場内・うしお内科様
同じ建物の左側です白山台八戸
いとう整形様2駐車場内・うしお内科様
同じ建物の左側です

白山台

みんなの国民年金

付加保険料制度について

付加保険料制度とは、国民年金の一般保険料に加えて付加保険料（月々400円）を納めることにより、老齢基礎年金に付加年金（200円×納付月数）が上乗せされ、受給する年金額を増やすことができる制度です。

付加保険料の納付をご希望の方は、役場または年金事務所で申し込みすることができます。このほか、将来受給する年金の金額を上乗せできる制度として、国民年金基金への加入や個人型確定拠出年金への加入などが挙げられます。

入会登録料を補助

i-サポで出会いを見つけよう



結婚サポートセンター「i-サポ」は、県と市町村などが協力してパートナー探しをサポートしています。町では入会登録料1万円を全額助成しています。この機会に「i-サポ」を利用してみませんか？

○入会の対象者

♡ 20歳以上の独身の人

♡ 岩手県在住の人や勤めている人

♡ 結婚後に岩手県に居住できる人

おでかけi-サポを開設

"いきいき岩手"結婚サポートセンター

当院にご相談ください

喘息・長引く咳・長年のタバコで息苦しい

高血圧・糖尿病・高脂血症・睡眠時無呼吸

八戸岡南小学校向い（登り街道340号線 八戸市内入ってすぐ）

はやし呼吸器・総合内科クリニック

電話 0178-20-7723

特に、個人型確定拠出年金は拠出限度額がありますが、付加保険料制度との両立が可能です。詳しくは下記の連絡先へお問い合わせください。

● 納めることができる方

国民年金第1号被保険者ならびに65歳以上の方を除く任意加入被保険者

【問い合わせ】

・付加保険料制度について

二戸年金事務所（☎23-4111）

町民生活課（☎46-4734）

・国民年金基金について

全国国民年金基金（☎0120-65-4192）

・個人型確定拠出年金について

お近くの金融機関

軽米病院だより

人生会議=「ACP」とは？

県立軽米病院 院長 葛西 敏史

介護・保健福祉・医療従事者の間では浸透しているのですが、ACP（アドバンス・ケア・プランニング）という言葉があります。これは将来の変化に備え、患者さんを主体に、その家族や近しい人、医療・ケアチームとが話し合いを行い、患者さんの意思決定を支援する取り組みのことです。患者さんがこれまで大切にしていたこと、家族に伝えておきたいこと、最期の時間をどのように過ごしたいか？などを皆さんで話し合っておいてほしいのです。

特に超高齢社会を迎えて、人生の締めくくりの時期に、家族や医療関係者などがどのように寄り添っていったらいいのかが、今まで以上に大きな課題になっています。もちろん、人の考え方も変わることもありますので、その都度繰り返し話し合うことが重要です。そうすることで、本人の意思が尊重された医療・ケアを受けることが可能になり、残されたご家族にとっても重要な意味を持ちます。

どうか前向きに捉えて、今後について、家族、かかりつけ医、看護師、ケアマネージャーさんなどに相談してみてください。



玄関施錠時間の変更

県立軽米病院 院長 葛西 敏史

病院近郊のクマ出没対策のため、当面の間施錠開始時間を繰り上げます。

■ 施錠時間 18:00～6:00

※ご用の方は、インターホンにて当直者までお問い合わせください。

※院内巡回等不在のため、当直者がすぐに対応できないことがあります。その場合は、恐れ入りますが当直者に電話（☎0195-46-2411）くださるようお願いします。

皆さまのご理解とご協力をお願いします。

写真募集中

軽米町内の景色や風景、町内に住むお子さんの写真を募集しています。採用された方には図書カードをプレゼント！ご応募お待ちしています！



あとがき



広報かるまい12月号をお読みいただきありがとうございます！今年も早いもので、もう12月。朝の空気が一段と冷たくなってきて「ああ、冬が来たなあ」と感じる毎日です。

今月は町村合併70周年記念式典が行われました。70年という時間の重みを感じながら、節目の年に広報を担当できているのもなんだか不思議でちょっと特別な気持ちになります。来年も「広報かるまい」をよろしくお願いします。それでは皆さまよいお年を～

【問い合わせ】

健康福祉課福祉担当（☎46-4736）

障がい者支援施設 太陽荘

子育て中や未経験の方でもイチから指導します！

介護・看護職員大募集！

介護業務経験のある方は、給与面で考慮いたします！充実の待遇・資格取得支援制度あり。私たちと一緒に働いてみませんか？まずは、お気軽にお電話ください。

問い合わせ先：太陽荘（軽米町大字山内12-89-7）TEL. 0195-47-2316

正社員・パート (株)阿部繁孝商店 九戸工場
募集中！

正社員

- ・給与 20万円（昇給あり）
- ・賞与 年3回（7月、12月、3月）
- ・勤務時間 8:00～17:00（休憩70分）
- ・その他 送迎バス利用可、食事手当、がん保険、バースデープレゼント

パート

- ・時給 1,100円
- ・勤務時間 9:00～15:00（休憩60分）
- ・正社員転換あり
- ・その他 マイカー通勤手当、食事手当、バースデープレゼント

丹波北東の
あべどり
株式会社あべはんぐルート



☆お問い合わせ☆

本社☎0195-23-2111 担当：鷹賀、澤田
またはお近くのハローワークへ

戸籍の窓口

10月1日～10月31日 ※敬称略

おくやみ

内澤 岩雄 (93)	高家
宮本 則子 (94)	上新町
工藤 則夫 (75)	下新町
高山 ハルエ (90)	仲軽米
浅水 繁三 (94)	上円子
紫葉 ゆかり (49)	下野場
平瀬 篤 (88)	萩田
小笠原 實 (76)	仲軽米
平内 徳道 (51)	市野々

人の動き

令和7年10月31日現在(カッコ内は前月比)

人口 7,699人 (-19人)

男性 3,771人 (-13人)

女性 3,928人 (-6人)

世帯数 3,592世帯(-5世帯)

転入 8人 転出 14人

出生 0人 死亡 13人

交通事故

10月末(カッコ内は1月からの累計)

人身事故 0件 (2件)

死亡者 0人 (0人)

物損事故 10件 (120件)

火災・救急

10月末(カッコ内は1月からの累計)

火災 0件 (8件)

救急 36件 (335件)

休日当番医

(二)…二戸市 (軽)…軽米町 (一)…一戸町

日	急患(午前9時～午後5時)	電話	歯科(午前9時～正午)	電話
12/21	二戸クリニック(二)	25-5770	こしみず歯科クリニック(一)	33-4618
12/28	すがわら消化器内科(二)	23-2879	みさわ歯科医院(二)	43-3115
12/30	ほそかわ小児科クリニック(二)	26-8100	右門歯科クリニック(二)	38-2288
12/31	小野寺内科医院(一)	33-2505	国香歯科医院(二)※裏小路	23-2223
1/1	よこもり眼科クリニック(二)	22-2230	—	—
1/2	千葉耳鼻咽喉科医院(二)	26-8133	渡辺歯科医院(二)	23-2052
1/3	かわさきクリニック(二)	26-9900	菅歯科(二)	23-5161
1/4	おりそ内科循環器クリニック(二)	22-2251	沢藤歯科医院(二)	25-4002
1/11	松井内科医院(一)	33-2201	國香歯科医院(二)※石切所	23-2764
1/12	菅整形外科皮膚科クリニック(二)	23-7311	こしみず歯科クリニック(一)	33-4618
1/18	カシオペア医院(二)	23-3331	まだ歯科クリニック(二)	26-8282

広告募集

問い合わせ seisaku@town.karumai.iwate.jp

1号広告(本枠)
○白黒 4,000円
○カラー 6,000円

2号広告(横幅が本枠の倍)
○白黒 8,000円
○カラー 12,000円

※半年以上の連続掲載で割引あり。

ECCジュニア軽米教室

無料体験レッスン実施中!
(日曜日可) レッスン見学可

お問い合わせは...
教室HP: ecc かるまいで検索
教室Instagram: eccかるまいで検索
九戸郡軽米町大字軽米第12地割24番地6
Tel:0195-46-3419

広告スペース

令和8年度
認定こども園・保育園

新入園児 募集



町内保育施設の新入園児を募集します。入園を希望される場合は、各受付場所まで関係書類を提出してください。なお、関係書類は各受付場所で配布します。

受付期間

12月22日(月)～令和8年1月16日(金)

受付場所

入園を希望する施設または健康福祉課

入園可能施設・入園対象

◎幼児教育を希望する児童

○入園可能施設

・花のまち軽米こども園

○入園対象

令和8年4月1日時点で3歳～就学前までの児童

○利用時間

月～金曜日 8:30～14:00 ※預かり保育あり

◎保育の必要性が認められる児童

○入園可能施設

・花のまち軽米こども園

・小軽米保育園

・晴山保育園

○入園対象

令和8年4月1日時点で生後6ヶ月～未就学の乳幼児

○利用時間

月～土曜日 標準時間認定 7:30～18:30

短時間認定 8:30～16:30

※延長保育あり

◎保育料と給食費は無料

◎別途、保育教材費・保護者会費などの集金があります。

その他

◎申し込み状況によっては、希望以外の施設となる場合があります。予めご了承ください。

【問い合わせ・申し込み】

花のまち軽米こども園 ☎46-2905

小軽米保育園 ☎45-2680

晴山保育園 ☎47-2020

健康福祉課福祉担当 ☎46-4736



区間新記録で
鮮烈な走り

東北福祉大学3年の佐々木菜月さん（軽米高卒）が、10月26日に宮城県仙台市で開催された第43回全日本大学女子駅伝対校選手権大会の3区で区間新記録を樹立した。これまでの区間記録を1秒も上回る快走で、チームを一気に上位へ押し上げた。「嬉しさよりも驚きの方が大きかった」と振り返るが、その裏には積み重ねてきた努力と確かな成長があった。

10月初めは体のキレやスピードが戻らず不安も抱えていたが、少しずつ練習で刺激が入り、本番では「かなりコンディションが良かつた」と語る。雨模様の中、想定よりも前の順位で襷を受け取り、不安6割・楽しみ4割という心境でスタートした。最初の緩い登り坂、続く高架橋のアッパダウンド、3区は難易度が高い準エース区間と言われている。前半と後半をつなぐ重要な役割を担う中で、佐々木さんはラップを確認する余裕さえ感じていた。「計算していたペースを上回って走っていたので、初めて“いけるかもしれない”と思った」という。

普段の練習では、走る前の腹筋トレーニングで“体の軸”をつくること、入念なアップで怪我を防ぐことを大切にしている。また、「東北でも全国と戦える」とを証明したい！」という強い思いが日々の努力の原動力になっている。

今後は5000mでの15分台、初挑戦となる10000mの標準記録突破、そして将来はクイーンズ（全日本実業団女子）駅伝で“ゲームチェンジャー”となる走りを目指す。「誰よりも謙虚に、誰よりも努力し、誰からも尊敬されるランナーになりたい」。その言葉からは、次なる飛躍を誓う強い意志がにじんでいた。

